



理事長 江端 源治

まもなく平成24年(2012) 70 学園創立 周年

「ありがとう」の気持ちで、
人の幸せを願う豊かな心
～素晴らしい学生、生徒、園児たち～

玉手山学園広報

No.62 新年号
2010年1月10日
総合学園広報誌

謹賀新年、

今年をどんな年にするか？

冬はみんなでウォームピズを！

学生・生徒・園児、保護者として教職員のみならず、新年明けましておめでとうございま

す。皆さまにとりまして今年2010年が実り多き年になりますようお祈り申し上げます。

昨年は新型インフルエンザに社会が大きな影響を受けました。本学園でも昨夏から断続的にインフルエンザの発症者があり、昨年末からやや増加の傾向が見られます。自分の体も人の体も大切するということがけで、各自がしっかりと健康管理をすることが基本です。十分に注意して元気に冬を越しましょう。

今年も暖冬予想、地球温暖化防止のECO活動に本気で取り組まねば地球に未来はありません。自分たちにもできるECO

建学の精神「感恩」

人間のおよび得ない存在への畏敬の念と、生かされてある不思議を原点に人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し今日の自分がある。この厳粛にして偉大なはからいに目覚め、沸き起こる深い感動と感謝の念から発する情熱をもって行動するとき、われわれは人々に幸せをもたらすことができる。

私学人(教職員、学生・生徒・園児)である誇り

きらりと光る一本であれ

さて新しい一年が始まります。「今年をどんな年にしてやろう！」と、各自の目標を定めてその達成に向けて歩んでいきましょう。

学校には「私立」と「国公立」があります。私立の学校数割合は、幼稚園61%、小学校1%、

中学校7%、高校26%、専門学校93%、短期大学93%、大学77%であり、私立は日本の教育の大きな一翼を担っています。昨秋、鳩山由紀夫首相が所信表明演説で「すべての意思ある人が質の高い教育を受けられる国、子育てや教育は未来への投資として社会全体が助け合い負担するという発想が必要で

す。」と教育の機会均等と教育投資の重要性を述べています。教育の重要性や教育を受ける機会・権利に公私の区別は本来、不要です。しかし、現実には教育への公費支出は公私学校間で大きな格差があります。国公立学校への公費支出が、私立学校へのそれを大きく上回り、その分、私立学校の授業料等は国公立学校より高額にならざるを得ず、学校選択に経済的な要素が大きく関わっています。公費支出の公私間格差の是正が強く望まれます。

校とは一体どんな学校なのでしよう。私立学校の最大の特長、そして誇りは、「学園独自の建学の精神(教育理念)を有し、個性豊で多様な能力をもった人間を育成する。」ことにあります。ある私学人は、**私学は色々な味のある「雑木林型教育」**、「国公立は**「人工植林型教育」**とたえています。我々は私学人です、大いなる誇りを持って「きらりと光る一本」でありましょう。

建学の精神「感恩」

感謝の気持ちで、人の幸せを願う豊かな心

毎年、学園理事会では一層の共有・実践を期して、建学の精神「感恩」・学園の使命を再確認しています。わが学園は、「ありがとう」の感謝の気持ちを持って、人の幸せを願う豊か

な心で社会に貢献する人を育てたいと願っています。これが学園のすべての教育活動の基盤です。わが学園で、豊かな感受性をもって多くの「ありがとう」に出会い気付き、その感謝・感動をもって行動し、次の「ありがとう」を生み出していく、そんな学園生活を心がけて送ってください。

大学祭文化祭、

体育大会・運動会など

笑顔、あいさつ、心やさしい マナーをありがとう

昨秋、大学祭・文化祭、体育大会・運動会など学生・生徒・園児のみなさんの活力を発信、披露する行事が行われました。一人でも多くの来場者や仲間を楽しんでもらいたい、ベストを尽くして自分たちも最高の達成感を味わいたいという情熱を感じました。何よりみなさんの笑顔やあいさつ、心優しいマナーはとても爽やかでした。人の幸せを願う豊かな心をもつ本学園の学生・生徒・園児たちは素晴らしいと改めて感じました。

学習は「するもの」

ほんなに勉強に

打ち込めるのは

昨春の本学大学院修了生より、「2年間これまでにないほど勉強に専念できた、ほんなに自分が勉強に打ち込めるとは思わなかった、自分が変わった。」といううれしい報告がありました。彼は自分の力を再発見し大きく成長しました。我々教育人にとっても、教師冥利に尽きる最高の言葉であり、明日への活力につながります。気持ちの持ち方ひとつで全く違ってきます。本来、学習は「させられるもの」ではなく「するもの」です。

学園創立70周年、

記念事業(学園中長期計画)

学園力発信

まもなく学園創立70周年(2012年)を迎えます。多くの学園関係者、先人の今日までのご尽力に感謝申し上げますとともに、さらなる学園の発展向上を期し、学園70周年記念事業

(学園中長期計画)を推進中です。平成19年に学園総合体育館D0夢、平成21年に短大5号館増築が竣工しました。また、大文学科コース制(H22・4)、大学特別支援教育専攻科(H22・4)、大学新学部・短大新学科構想(H23・4)、臨床心理学科保育士養成課程構想(H23・4)、大学新校舎建築(H23竣工)など鋭意、準備を進めています。また70周年記念行事も予定し、学生・生徒・園児のみなさんのはつらつとしたエネルギーを発信し、楽しめるイベントを企画したいと思っています。広くアイデアを集め、みなさんが当事者として参加する、わくわく感のある記念行事を学園のみんなで創り上げていきましょう。雑木林の中でできらりと光る私学として、建学の精神「感恩」を体し人の幸せを願う豊かな心をもつ本学園の存在、学園力を力強く発信していきます。



学園 70周年

学園70周年記念行事実行委員会発足

学園70周年記念行事実行委員会

庶務 奥田 美紀

当学園は、平成24年(2012年)に創立70周年を迎えることとなります。当学園では70周年を迎えるにあたり、建学の精神

者等を加えたメンバーで、活発な意見交換を行いました。

「感恩」の一層の定着推進を図り、常に魅力ある学園、社会に貢献し必要とされる学園を目指すため、学園中長期計画として70周年記念「事業」を実施いたします。その一環としての記念「行事」を遂行するために、平成21年8月21日開催の運営理事会にて「学園70周年記念行事実行委員会」が設置されました。

現在、70周年を教職員、学生・生徒・園児はもちろんのこと卒業生を含めて全員が、わくわく感を持って迎えることができるよう、参加型の行事を企画したいと考えております。各所属にて各校園が単独で、あるいは他校園と連携してどのような特色ある行事を実施できるか、多くの方からのアイデア募集を行っております。

実行委員会は、江端理事長を委員長とし、副委員長を江端本部長、祖父江短大副学長、関谷高校長、木村理事の5名で構成し、9月より月1回の委員会を開催しています。11月(第3回)には拡大委員会として、実行委員に行事ごとの小委員会の責任

学園70周年記念事業を通じて全学園あげて情熱を燃やし、学園の一層の発展向上を期してまいりますので、学園教職員そして学生・生徒・園児のみなさんのご協力をお願い致します。

柏原市民総合フェスティバルに参加

教務部 井上 智

10月12日(月・体育の日)、すばらしい晴天のもと「柏原市民総合フェスティバル」が大阪教育大学柏原キャンパスにおいて開催されました。9時から始まった開会式は当初の予定より多少長引いたものの、市民体育祭を始め、市民郷土まつり、商工まつりもプログラムに沿った内容で進められました。

このフェスティバルには関西福祉科学大学から、学園祭実行委員やオープンキャンパススタッフをはじめ、ダンスサークル、ダブルダッチサークル、手話部など多くの学生が参加し、大阪教育大学生と力を合わせ柏原市の大きなイベントを盛り上げてくれました。参加していた学生の表情には爽快感があり、すがすがしい気持ちを感じました。また、関西女子短期大学附属幼稚園の園児と卒園児童によるかわいらしいキッズダンスも披露されました。

中でも、市民郷土まつりの「大学生による吹奏楽・コーラス」のプログラムで、手話部とオープンキャンパススタッフの

共同による手話ダンスを発表する際の代表者の挨拶において、日ごろ関西福祉科学大学の学生は柏原市民の皆様に変なお世話になっていることや市民の皆様に支えられていることなど、非常に謙虚な姿勢で感謝の意を述べたところ、多くの参加者の共感を誘い盛大な拍手をいただいた印象深いフェスティバルでした。

《参加した種目》

●市民体育祭

ソフトテニスサークル・オープンキャンパススタッフが参加

●大学生による吹奏楽・コーラス (吹奏楽は大阪教育大学生)

手話部・オープンキャンパススタッフが参加

●ステージ

ダンスサークル・ダブルダッチサークルによるダンス発表
幼稚園課外クラブ、卒園児童によるキッズファンクダンス発表

《協力》

学園スクールバスによる来場者の送迎(柏原市役所へ会場)



PUZZLE & GROWTH(手話部とオープンキャンパススタッフ) …運動会参加(大和川渦潮)



ソフトテニスサークル …運動会参加(企業対抗 400m リレー)



関西女子短期大学附属幼稚園課外クラブ…キッズファンクダンスの発表



ダンスサークル B.B.C. …ダンスショーケースの発表



関西女子短期大学附属幼稚園卒園児…キッズファンクダンスの発表



ダブルダッチサークル…ダブルダッチショーケースの発表



PUZZLE & GROWTH(手話部とオープンキャンパススタッフ) …手話ダンスの発表

第5回愛情バランスお弁当コンテスト

◆愛情バランスお弁当コンテストとは？

「野菜バリバリ朝食モリモリ」を合言葉に、大阪府民の健康づくりのための食育活動の一環として、イズミヤ株式会社・健康おおさか21府民会議・大阪府の主催で、家族、恋人、友人：大切な人の笑顔のために、野菜をたくさん使った栄養バランスのいいお弁当のレシピ募集がありました。

主な選考基準は、アピールポイント（テーマをどういうメニューで表現しているか）、見栄え、栄養のバランス（野菜量や食品の組み合わせ方）、商品化のしやすさ（素材、想定価格500円前後）です。

◆コンテストの結果

全応募作品176件から書類審査を通過した10作品が「おおさか食育フェスタ2009」（8月25日そごう心斎橋本店）の会場内に展示され、一般来場者による人気投票の結果、最優秀賞（イズミヤで商品化、1作品）、優秀賞（1作品）、特別賞（8

作品）が決定し、表彰式が行われました。

本学の福祉栄養学科の学生さんから16作品が応募され、5作品が書類審査を通過し、人気投票に進みました。その結果、「うでふるまめふる」が最優秀賞（最多得票）として表彰され、「野菜たっぷりヘルシー弁当」「ヘルシー健康弁当」「今日もおつかれさま弁当」が健康志向なOLさんへ贈る彩り弁当の4作品が特別賞を受賞しました。



本学の入賞者のみなさんです。

うでふるまめふる ハート♡ふる弁当



審査（人気投票）の様です。



最優秀賞（一般部門）
2年 田口美祥さん、辻佐名絵さん
宮平千鶴さん、宮本照代さん



受賞者の声

4人でいろいろな案を出し合って、盛り付けや色合いはもちろん、健康第一で考えました。まさか最優秀賞をいただけると思っていなかったのも、とても驚きました。4人で力を合わせた結果だと思います。これを励みにこれからも頑張って勉強していきたいです。

アピールポイント

大切な人へ贈る野菜たっぷり、豆たっぷり、愛情たっぷりのお弁当を腕をふるって作りました。おからクロック、高野豆腐、枝豆ご飯、大豆入りひじき煮が入っています。

ヘルシー健康弁当



特別賞
2年 上本歩美さん

アピールポイント
いつも仕事を頑張っているお父さんに「ありがとう。これからも頑張るね」という思いを込めて作りました。

健康志向なOLさんへ贈る彩り弁当



特別賞
2年 内藤匡哉さん
杖池久美子さん

アピールポイント
いろいろ食べたいけど健康が気になるOLさんへ！見た目をカラフルに目にも楽しいお弁当になりました。

野菜たっぷりヘルシー弁当



特別賞
1年 北中博美さん

アピールポイント
お年寄り向きに、野菜たっぷり、塩分控えめ。甘い、辛い、酸っぱいと味にメリハリをつけました。たんぱく源も肉だけでなく、チーズ、大豆、卵と工夫しました。

今日も1日おつかれさま弁当



特別賞
2年 宮崎一泰さん
原田紗希さん
清水 絢さん

アピールポイント
いつも休みなく働くお母さんに一息入れてもらえるように、あっさり味でバランスのとれた弁当にしました。

大学・短大の地域支援活動に感謝状

大学・短大地域交流支援センター

大学・短大地域支援交流センターの活動として、J R 柏原駅前ビルにある柏原市民プラザ内の子育て支援広場「ほっとステーション」の運営に協力しています。教員が運営委員会アドバイザーを勤め、「歯みがき教室」などのイベントや学生ボランティア派遣などを行ってきました。

その活動に対して柏原市よ

り、感謝状を頂きました。

「ほっとステーション」は赤ちゃんや小さな子ども、母親たちとの触れ合いを通じた学生の学びの場にもなっています。今年度は臨床心理学科の学生64名のべ320回にわたり授業の一環として「ほっとステーション」で乳幼児親子の支援を実習し、地域の方と交流を深めました。



短大5号館増築工事完成

施設部 中村 勇

短大5号館増築工事におきまして、工事期間中は工事用車両の進入・騒音等でご迷惑をかけたことが事故もなく無事10月20日に竣工いたしました。ご協力ありがとうございました。

増築部分は鉄筋コンクリート造・4階建・延べ床面積954.32㎡で待望のエレ

ベーターも設置となり旧短大5号館と一体となり便利に活用できるようにになりました。

増築部分には音楽室・調理実習室・試食実習室・養護看護実習室等が設置され充実した校舎が完成いたしました。学生の快適さ充実した実習室で授業が受けられる空間造りに施設部はこ

れからも外部にも目を向け、建築改修して行きたいと思えます。



試食実習室での調理実習

社会福祉学科卒業生セミナー開催

社会福祉学科教授 遠塚谷 富美子

社会福祉学科はこれまでに9回の卒業生を送り出し、その数は2985人におよんでいます。その全卒業生によびかけ、10月18日に「卒業生セミナー」を開催しました。

社会福祉学科といっても、2005年度までは社会福祉学科卒業生すなわち全卒業生です。第1期生は9年ぶりの母校訪問です。そのほかの学年も大学に来るのは卒業以来はじめてという人が多く、感激の再会があちこちでみられました。

社会福祉学科では新カリキュラムの導入にともない、今後卒業生との連携を強化していく必要性が見込まれますが、それにもまして、卒業生相互が結びつきを深めつなかりを広める機会をもつことは重要なことです。当日のプログラムは第1部が学科長の講演と卒業生4人の活動報告、第2部が学年ごとに分かれての小グループでの交流会、第3部が懇親会でした。

参加した卒業生は146名、先生方の参加は36名で、社会福祉学科だけでなく、現在の学部

学科に別れる前の社会福祉学科におられた先生方も参加されました。

第1部の4人の人たちは障害者福祉、農業、経営コンサルタント、高齢者福祉の分野からの報告で、大好評でした。第2部のグループ交流会では先生方も分かれてそれぞれのグループで交流を深めて頂きました。参加者へのアンケートの結果では、今後も卒業生のつながりを望む声が多かったです。

今回の開催にあたっては、教員、学生支援センター、運営企画室が一体となって5月からほぼ週1回の打ち合わせ会議を重ねて周到に準備を進めてきました。

こうした集まりは本来的には同窓会の仕事であり、今後は同窓会の機能をどう支え強化していくかが重要になります。



ハンドボール部から日本リーグプレーヤー誕生

ハンドボール部顧問 山崎 英幸

関西福祉科学大学ハンドボール部の秋季リーグの成績は、女子は2部3位という結果に終わりました。リーグ最終戦は、当学園総合体育館で行われ、勝てば2部優勝という大一番でした。この日は、江端理事長、江端本部長、浦城経営企画室長、梁井学生支援副センター長が応援に駆けつけてくださいました。選手も気合が入り、序盤から一進一退の攻防が続き、2点リードで前半を折り返し、後半に入っても接戦が続きましたが残り9分で逆転を許し、20-22で負けてしまいました。試合後、江端本部長が選手達に「試合は負けてしまったけれども、皆さんの一生懸命さに感動しました。」と声を掛けていただき、選手も私も、次ぎは絶対にと、という気持ちになりました。

リズムが狂うと立て直しがきかないという心の弱さを露呈してしまいました。これを克服すべく今後活動していきます。クラブ員達は、専門職を目指しかつハンドボールをしたいという学生が集まり活動をしており、今年度の卒業予定者もほとんどが専門職に就く予定です。その中で創部以来初となる、日本リーグプレーヤー(チーム：三重バイレットアイリス)が誕生します。それは短大保健科医療秘書コース2年の飯田菜都栄さんで、最終戦を見に来ていた監督から直接スカウトされました。

学生たちが成長できるのも学園の皆様、学生の保護者の皆様並びに出身高等学校の先生方のバックアップがあってこそだと感謝しております。

これからも精一杯精進していきますので皆様の益々のご声援、ご指導を宜しくお願い致します。

最後に【三重バイレットアイリス】を紹介します。
日本ハンドボールリーグに

参戦する女子ハンドボールチームで2002年三重花菖蒲ハンドボールクラブとして設立されました。現在は、特定非営利活動法人三重花菖蒲スポーツクラブが運営しています。



日本リーグチームに入団が決まった飯田菜都栄さん



本部バス運転手チーム 無事故・無違反コンテストで 表彰を受ける

法人本部総務部 田中 俊治

昨年8月に大阪府交通安全協会より「無事故・無違反コンテスト」への参加案内が届きました。「無事故・無違反コンテスト」とは事業所で5名以上が1チームとなり、20年10月～21年3月の半年間、「無事故・無違反」にチャレンジするものです。学園では「本部バス運転手チーム」6名がコンテストに参加し、

見事「無事故・無違反」を達成しました。秋の交通安全週間のさなかの9月26日にリビエールホールで表彰式があり、チームを代表して木田さんが表彰状と副賞の盾をうけとりました。プールの運転手として無事故・無違反は当然のことですが、この表彰を機に運転手一同さらなる安全運転を誓いました。



本部運転手チームの皆さん



表彰状

新型インフルエンザ 人への思いやりが流行を防ぐ

幼稚園 大西 英子

昨年の春から世界中を震え上がらせている新型インフルエンザ。五月と十一月には臨時休園措置をとらざるを得なくなりました。

新型インフルエンザに対して特別な予防法はなく、かぜや季節性インフルエンザの予防法と同じく、手を洗う、マスクを利用する、うがいをする、そして食事や生活リズム、慢性疾患のコントロールなどといわれています。また園児や小さなお子様には流行中、麻疹や百日咳などにかからないように予防接種をきちんと受けておくことも大変大事なことでと聞ききました。

インフルエンザのような症状のある人は、人にうつさないという気持ちを持って、早めにマスクを付けることが大切です。これが思いやりの咳エチケットですね。「わがまま社会」ではなく、「思いやり社会」であってほしいものです。幼稚園では、感染防止の環

境整備として、昨年の秋にいち早く、全保育室にウイルスを分解・除去できる機能のついた空気清浄機と加湿器を設置いたしました。すばやい対応に保護者からも賞賛のお言葉を頂きました。



幼稚園に設置した空気清浄機



PTA社会見学に参加して

関西福祉科学大学高等学校PTA校内書記 大森 忠夫

さる十月二十日(火)柴田会長・学校長をはじめ三十六名が世界遺産の高野山へ社会見学に行ってきました。

下見段階で、山頂への急な山道では車酔いの人が出るかも?と、酔い止めの薬を用意して、当日は、いつもなら帰りの車で行うビンゴゲームを早々とバスの中で行ったので懇親モードは全開、出発から大いに盛り上がりました。

奥の院前の駐車場からは現地ガイドさんの懇切丁寧な案内で、企業のユニークな墓や各大名の供養塔を見て回り、御廟橋の手前で合掌してから、厳かに弘法大師の居られる奥の院を、大師にまつわるお話を聞きながら参拝しました。

お昼は会長のご親戚に当たる「花菱」さんで、美味しい高野山料理「橋点心」に舌鼓をうち、みんな満足したところで、数珠づくりを体験するため「普門院」へと移動しました。

学校長は「確か、ここは遠縁に当たるお寺」とびっくり! 不思議なご縁を感じながら、お

抹茶とお菓子を頂きご講話を聴いたあと、いよいよ数珠作りに挑戦しました。(あらかじめ、数珠を持つ方の氏名と干支を連絡して、材料を事前に準備して頂きました)

まずは、手渡された奥の院の霊木 高野杉の母珠(もじゆ)を、だいたい色のペーパー(過去)で磨いて、次に黄色のペーパー(現在)を使い、最後は水色のペーパー(未来)でと、罪を悔い、わが心が清く正しくなるよう一生懸命磨き上げていきます。そのあとは、紫壇や梅ノ木、色玉を、仏様を念じながら、一つずつ自分の好きなように組み合わせる紐に通すと出来上がりです。数珠の房通しの部分には、生まれ月と菩薩を表す梵字と名前が焼き付けられた、世界で一つのオリジナル念珠を手にとって、心のやすらぎを覚えました。

最後は土産物屋さんで恒例の買出し(笑)、それぞれが笹巻あんぶや胡麻豆腐などをたくさん抱えて帰路へと急ぎました。

今回は時間の都合で、自分で組み紐を作ることは出来ませんでした。桜の頃にもう一度プライベートでも参拝してみたい、心洗われる社会見学でした。



◆ニューフェイス紹介◆

(平成21年10月～12月)

青島 康典

(大学事務局運営企画室 参事)



大学事務局運営企画室に配属となりました青島でございます。前職は家電メーカーで人事職能を長年経験させていただきました。これからは「福祉」関係の仕事をしたいと思っております。この、「玉手山学園」での仕事の機会をいただき大変感謝しております。学園での仕事は始まったばかりですが、学園が成長・拡大していけば学園で学ぶ学生さんも働く教職員の皆様もおのずから元気になります。また、変化し競争の激しい世の中ですが、目標を持って力を合わせ変化に柔軟に対応していけば必ずや更なる成長が期待できると考えます。私自身は、まだまだ職員としての知識も経験もななく何も判らない状態ですので、先ずは皆様のご指導・ご鞭撻に

より早期に慣れ親しみ、人を知り仕事に判り経営の判る職員となるよう努力し、少しでも学園に役立っていきたいと考えております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

則松 武夫

(法人本部財務部 副部長)



明けましておめでとうでございます。昨年の10月1日より法人本部に勤務しております則松武夫と申します。私はそれまで、一般企業のパナソニックという会社に勤務しておりました。この度、縁あって本学園にお世話になることになり、今までは全く違う環境の中で、毎日が『日々是新』を感じつつ、勤務していきます。私のこれまでの経歴の中で、他の人と少し違っているのは約13年間を海外で勤務した点ではないかと思えます。その初

人事異動

(平成21年10月～12月)

○大学事務局

(採用)

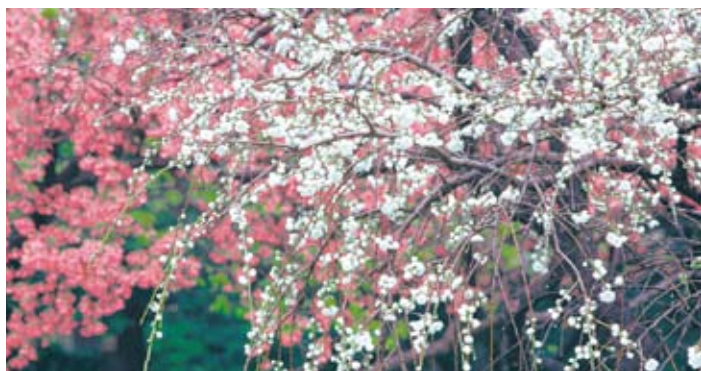
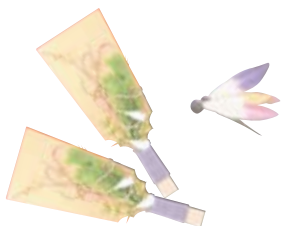
別掲

○法人本部

(採用)

別掲

めは、約20年前のアルゼンチンのフエゴ島への単身赴任です。1年中寒い不毛の島にあった会社にて約3年半いました。続く93年からのアメリカのマイアミでの5年半は、家族と一緒にでした。この時は、住むのはアメリカで、職場はまだゲリラが活動していたグアテマラ、エルサルバドル、コスタリカの中米3カ国で、月1回出張し、現地人主体の経営をフォローしていました。3度目は'02年からで、インドネシアの Batam 島での3年間の単身赴任です。これまでに中南米、アフリカ、インド、中国、等24カ国に住んだり、出張で訪れたりしましたが、現地の歴史や文化を理解し、現地の人達の目線に合った付き合いをすれば、どの国の人達も同じだということを実感しました。今後とも、宜しくお願い申し上げます。



編集後記

○あけましておめでとうでございます。今年の干支は「寅」です。さて過去の寅年はどんな年だったのでしょうか。ちよつとふりかえってみましょう。

○1998年(平成10年)はその前年に山一証券はじめ多くの金融機関が破綻し、日本発の世界恐慌かといわれた年で、1986年(昭和61年)は急激な円高が進行し、円高不況のまっただ中でした。1974年(昭和49年)は第一次オイルショックの翌年で「狂乱物価」という言葉が生まれました。

○こうしてみると「寅年」は激動の年ようです。一人ひとりの知恵と工夫で激動の年を乗り切っていきたいと思います。

■玉手山学園広報

発行 法人本部

No.62平成22年1月10日発行

昭和63年4月12日No.1発行

学校法人 玉手山学園

関西福祉科学大学

関西女子短期大学

関西福祉科学大学高等学校

関西女子短期大学付属幼稚園

関西医療技術専門学校

〒582-0026大阪府柏原市旭ヶ丘三丁目土番号

電話(072)9781-6661番

FAX(072)9781-8587番

http://www.hojinshu-ai-kagaku.ac.jp